



皇 學 館

第20号

学園報

平成21年 5 月25日発行
発行：学校法人皇學館
編集：法人本部総務課 TEL0596・22・6308
伊勢学舎[法人本部・大学院・専攻科・文学部・教育学部]
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地
TEL0596・22・0201(代) FAX0596・27・1704
名張学舎[大学院・社会福祉学部]
〒518-0498 三重県名張市春日丘 7 番町 1 番地
TEL0595・61・3351(代) FAX0595・61・3350
<http://www.kogakkan-u.ac.jp>

●今号の注目記事

- 1 面
大学で入学式を挙行
- 2 面
伊勢市との合同環境ミーティング
米国ホームステイ体験記
- 3 面
新任教職員の紹介
- 4・5 面
学生責任編集ページ
蔵のまち・河崎を訪ねる
- 6 面
中高で卒業式・入学式を挙行
- 7 面
教職員人事
- 8 面
卒業記念ミュージカルを開催

●連載

- 1 面
皇學館人物列伝① 吉田茂
- 2 面
リレーエッセイ 私の学生時代
佐古一洌(学校法人皇學館 理事長)
- 7 面
先輩、お元気ですか
奥田喜久男氏(株式会社BCN社長)



真新しいスーツに身を包み、明るい表情で式場へと向かう新入生たち。



式は厳粛な空気のなか挙行された。

将来国家有用な人材に
式典は十時から始まり、開式の辞、国歌斉唱の後、厳粛な雰囲気の中で伴五十嗣郎学長が「賀陽宮邦憲王令旨」を奉読。続く式辞では、この令旨が「建学の精神」を最も簡潔にかつ的確に表明したものであるとして百九十年を経て大切に継承されてきたことを伝えた。そして、いづれの学科に属していても世界に開かれた広い視野をもって勉学につとめるとともに、わが国の歴史と伝統を尊重し、日本人にふさわしい学識と人格・識見を身につけることを忘れず努力してほしいと述べた。

また佐古一洌理事長は告辞のなかで、謙虚な姿勢で日々着実・積極的に歩みを進め、省みて悔いのない青春を送るよう、と新入生たちを激励した。

神宮大宮司の鷹司尚武氏からも祝辞が寄せられ、神宮参事・渡邊和洋氏が代読。これらに対し、新入生代表の六名が壇上に上がり、「建学の精神に思いを致し固く学則を守り、将来国家有用の人材となるべく努力したい」と宣誓。その後、閉式の辞をもって入学式は滞りなく終了した。

志を抱き新生活

富山県から神道学科に入学した神谷和宏さんは「国際化が進む現代にお

希望胸に七百十九名が入学

平成二十二年 皇學館大学入学式

倉田山に桜舞う四月一日、平成二十一年度皇學館大学入学式が伊勢学舎記念講堂で行われた。文学部三百六十五名、社会福祉学部七十三名、教育学部二百二十六名のほか大学院二十四名、専攻科三十一名、計七百十九名の新入生が式にのぞんだ。



いて、自分の国のことや日本固有の神道が学びたい」と神宮に近い本学を

選んだ理由を語った。また福祉関係への就職を希望して社会福祉学部へ入学した時國典子さんは「サークルや課外活動などにも積極的に取り組みたい」と明るい表情で学生生活への意欲をみせた。また津市出身の江尻真彦さんは、教師を目指して去年新設された教育

学部へ入学。将来への希望をしっかりと持った新入生たちの頼もしい姿勢がうかがえた。



左から、新入生の神谷さん、時國さん、江尻さん。

皇學館人物列伝1

吉田茂

廃校後の厳しい情勢のなか 本学再興へ尽力された初代総長

明治十五年よりの歴史ある神宮皇學館大学は、昭和二十年の大東亜戦争終戦の年の十二月、占領軍指令で神道を国家から分離するとして官立大学の故に廃校とされた。指令は厳しく、皇學館の同窓会である館友会にさえ軍政部が干渉するため名称を五十鈴会と改め、その本部事務所を宇治山田市より名古屋市内に移さざるを得なかったことを見ても、当時の締めつけの厳しさが判る。ようやく昭和三十年になって「神宮皇學館」が神宮の経営する神職養成機関として発

足し、昭和三十二年に至って大学再興を目的とする後援会を設立。元首相の吉田茂氏が会長に就任された。その顔ぶれは日本の政財界を代表する錚々たる人達で、副会長に当時の通産大臣・池田勇人氏、財界より石坂泰三氏、足立正氏などが名を連ねた。こうした長い苦難の紆余曲折を経て、昭和三十七年四月に第一回目の入学式が挙行された。引き続き大学の総長を務められた吉田氏は再興に当たり単に会長・総長と名前のみでなく、実際に行動されている。募金については各地の後援会や支部結成にまで出席され、開校後も幾度も大学の行事に出席されるなど、本学に対する思い入れは大変なものであった。氏のお力が必要ならば、その再興は相当遅れるか、或いは不可能であったかも知れないとさえ考えられる。

吉田氏の本学に対するお気持ち、氏が著書で「私が皇學館大学の復活に協力し、喜んで総長を引き受けたのは、祖国や祖先



よしだしげる◆皇學館の初代総長。第45、48、51代の内閣総理大臣。戦後設立された財団法人皇學館後援会の発起人代表として、皇學館の再興に取り組んだ。

当時国会で大臣秘書官などをしていた私も、神社本庁総長である林栄治氏のお供をして会社廻りをしたものだ。ある日、募金活動で遅くなり日の落ちた神社の境内を通る時、前に初老の男性が歩いていた。見るとその人の両足の踵が白く外燈に映る。追いついてみれば、募金担当理事の高橋君夫さんではないか。身嗜みの良い高橋さんが破れた靴下をはかれることはない。募金のため幾軒も会社廻りをされたご苦労の結果であったのだ。先輩達の血の滲むようなご苦労の上に今日があることに思いを致し、建学の精神の発揚に努力することが、その労に報いる道と確信する次第である。学校法人皇學館常任顧問 上杉千郷

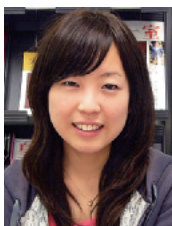
倉田山 春秋

伊勢神宮宇治橋の工事が始まり、今年十一月には新しく生まれ変わる。二十年に一度の命の蘇生、敬虔にして厳かな時の推移を、研ぎ澄ました心で見守りたい▼五十鈴川の別名を御裳濯川という。斎宮であった倭姫命が、この清流で御裳を清められたという故事によるというが、天照大神の鎮座する清浄な地への禊の業の如く、いにしえの人々は、裳を濡らしながら聖地へと赴いたのではなからうか。仮橋を渡りながら、今年の桜はいっそう力強いと思う。海外からの参拝者や、若いカッブルやグループも、最近目立つようになった▼皇學館の大いなる役割は、世界に飛翔する人材の育成にある。明治の初期、言葉の障壁を克服して欧米に学んだ先人たちの勇氣と志を思い浮かべる。彼らの意思を、私たちは正しく継承できているだろうか。又、本学に希望と夢を託した留学生諸君の、健やかな成長を期待しながら、応援したい▼河南大学(中国)の前学長である関愛和教授は会談の席で、「私は地位に関係なく、一般の人々の声を大切にしたい」と述べられたことが印象に残る。心は言葉を超えて、人と人の絆を固くする。

体験者インタビュー

視野を広げた十七日間
アメリカ短期海外研修&ホームステイプログラム

生きた異文化コミュニケーションを体験できる場を提供したいと、本学ではライトハウス・キャリアエンカレッジ株式会社と提携し、十七泊十九日の「アメリカ短期海外研修&ホームステイプログラム」を実施した。今回の参加者は八名。同プログラムでは一般の家庭にホームステイしながら現地の企業や学校で実際に働く機会があり、充実した日々を過ごしたようだ。



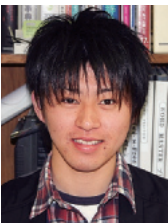
笑顔で話す春木さん。

インタビュー・豊住誠
文学部コミュニケーション
シヨ
ン学科教授(以下、省略)
このプログラムに参加
しようと思ったきっかけ
は何ですか？

同・春木美帆さん(以下、
春)

教育学部二年・中川雄貴
さん(以下、中)

大学主権という安心感
と、現地の企業で働ける
と聞いているような体験が
できると思いました。



満足気に語る中川君。

わたしは海外へ出たこ
とがないので日本以外の
国を知りたかったんで
す。小学校の先生をめざ
しているの、アメリカ
の教育現場を見たい気持
ちもありました。

研修はどうでした？

中 僕は地元のミニFM
局で朝九時から夕方五時



ロサンゼルス幼稚園で研修する春木さん。

言葉がいつ
も飛び交っ
てました。でも、ランチ
はビザ、ハンバーガーな
ど簡単なものばかり。日
本の方が食育に熱心です
ね。

苦勞したこともあり
ましたか？

春 食べ物が合わなかつ
たのと、子どもたちがケ
ンカしたり泣いたりした
とき、英語でどう言葉を
かければいいのか細かな
ニュアンスがわからなく
て歯がゆかったですね。

中 ラジオで流すローカ
ルニュースの原稿作りを

ていない」と注意しま
す。

プログラムに参加す
る前と後とで変わった面
はありますか？

中 積極性が身に付きま
した。じつは向こうで母
親ほど年齢の離れた女性
と友達になったんです。
その方のパーティに招待
されて、息子さんと友人
ともすぐ仲良くなれまし
た。ほんの数分前まで見
ず知らずの人間でも、二
三、言葉を交わしただけ
で友達になれるんです
よ。今までは受け身だっ
たのですが、帰国してく
らはバイト先でもいろん
な人に話し掛け、友だち
が増えました。

アメリカの教育は自
由だけれどもきちんと躾
が行き届いている気がし
ます。たとえば先生同士
が話しているところに生
徒が割り込むとする
と、話し終わるまで待っ

付きましたか？

春 アメリカの学校や企
業文化の違いを体感でき
て本当によかったと思
う」と同プログラムを視
察した豊住教授。参加者
はそれぞれに貴重な経験
を得たようだ。

皇學館中学・高等学校
新学校長に中村貴史氏が就任



新学校長に就任した中村氏。
(任期：H21.4.1～H22.3.31)

皇學館中学・高等学校はい
うまでもなく私学であり、特
色がなければ存在の意義はあ
りません。では、その特色と
は何か――神道を精神的基盤
とする学校ということです。

その上で、わたしは「清明正
直」「文武両道」を魂の規範
に掲げたいと思います。

神道の間観は清らかに明
るく、正直に生きていくこと
であります。まことに平明な
ことではありますが、平明で
あるがゆえに難しくもありま
す。常に清々しくあるべきだ
し、つとめて明るく率直に生
き、曲がったことはしない。
そんな日本人を作ること。そ
して、青春のエネルギーを学

昭和48年3月	皇學館大学文学部 国史学科卒業
平成4年4月	皇學館高等学校 非常勤講師
平成5年4月	皇學館高等学校 講師
平成8年4月	皇學館中学校教諭
平成9年4月	皇學館高等学校 教諭
平成15年4月	皇學館高等学校 教頭
平成15年4月	学校法人皇學館 評議員 現在に至る

習とクラブ活動に集中して、
二度とかえらぬ貴重な時間を
充実したものにしていくこ
と。更に、その理想を実現で
きる場にしていくこと。そう
したいと考えています。

経歴 中村貴史 満58歳

伊勢ならではの環境政策を
学生と伊勢市職員が環境ミーティング



学生の質問に地図を用いて答える伊勢市役所職員。

昨年七月、本学と伊勢
市は文化・教育・学術な
ど多方面で連携を強化す
る協定を締結した。これ
に基づき、スターティン
グプロジェクトとして環
境ミーティングを二月二
十四日に開催。本学から
は本澤教授をはじめ学生
九名、伊勢市は環境課の
職員など五名が参加し、
活発な意見交換がなされ

た。
午後二時に本学倉陵会
館二階第一会議室におい
て始まったミーティング
は伊勢市がまとめた環境
報告書(平成十九年度)
「えこのおと」を題材に
進行的。出席した学生
からは「環境対策の一つ
として年末年始のパーク
&パスライドを挙げてい
るが、本当に二酸化炭素



貴重な機会とあって活発な質疑応答が行われた。

は減っているのか」「マ
イナス面が掲載されてい
ない」など忘らんない意
見が出された。
一方、伊勢市の職員か
らどのような環境対策が
有効かアイデアを求めら
れる」と、たとえばこの報
告書の表紙を子どもが描
いた絵に替えるだけで
も、より親しみを持って
読んでもらえるのでは」
「地域が丸ごとになってお
木曳行事に参加するな
ど、伊勢市民は結束力が
強い。環境問題にこの優
れた団結力を活かせるこ
思ふ」と学生らしい柔軟
な発想に基づいた発言が
飛び出した。
二時間強の長丁場にも
関わらず参加者たちは疲
れを見せず、最後まで白
熱した内容で有意義な時
間を過ごした。

私の学生時代

硬派一筋の青春

学校法人皇學館 理事長 佐古 一 洵

国史学科第1期(昭和41年3月)卒



歌を通して、心ゆくまで正気を養
うことが出来た。

中でも秋の大学祭では、菅原道
真公・大楠公の史伝をもとに、構
成吟に挑戦して発表したことを、
密かな自負としている。

正直に言って、音楽的才能(音
感がまるでなかったのか、私の詩
吟は熱心な割には超下手くそで、
「好きこそものの上手なれ」
をはるかに凌駕していたようであ
る。

③四力所の下宿生活で、良友を得
た事

精華寮が出来たのは、岩渕町の
田中寮にて同級生四人が同居。寮
では下級生三人と相部屋。あと浦
田町の近江さん宅、岡本町の山本
さん宅で共に友人一人と同居する。
但し、部屋は別々であったが……。

「同じ釜のメシを食う」とはよく
言ったもので、それぞれ今なお親
密な交友が続いている。

かくて遺憾ながら、浮いた話や
経験もなく、只管硬派一筋の青春
であったと言えるよう。

新任教職員紹介

① 出身・経歴等 ② 趣味・特技等 ③ 座右の銘 ④ 一言メッセージ

皇學館大学文学部教授
西山 嘉代子



の収集（ご協力お願いいたします）
③ 実践躬行
④ 自然豊かで落ち着いた環境と、元氣溢れ個性豊かな学生諸君との出会いに感謝し、教育と研究に頑張ります。

① 伊勢市・東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。本学教育学部創設時から平成15年3月まで勤務。その後、非常勤を経て、今回一年間の特命教授。

② 旅行・工夫料理
③ 和を以て貴しと為す
④ 暗いと不平をいうよりも、進んで灯りをつけましょう。この事を心掛けて生活しています。

皇學館大学教育学部准教授 長尾 陽子



① 名古屋市・愛知教育大学大学院 ② デザイン・手芸
③ 自他を愛する心と行動
④ 算数教育を通して、子供と自分を育てられる教師になることをめざし、一緒に学びましょう。

皇學館大学文学部准教授 中松 豊



① 生粋の京女です。
② 還暦祝いと贈られたクロマチックハーモニカにはまっています。
③ 「自らに忠実に生きる」入学当初、心理学の教授から教わった言葉です。
④ 一旦退きましたが、復職の機会を与えて頂きました。

皇學館大学教育学部准教授 元塚 敏彦



① 奈良県 ② コースター

皇學館大学文学部准教授 杉野 裕子



① 名古屋市・愛知教育大学大学院 ② デザイン・手芸
③ 自他を愛する心と行動
④ 算数教育を通して、子供と自分を育てられる教師になることをめざし、一緒に学びましょう。

皇學館大学文学部准教授 中松 豊



① 名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期修了・博士（農学）
② 釣り・野球観戦
③ 縁の下
④ この自然豊かな伊勢の地で実験や講義ができることを心より楽しみにしています。

皇學館大学教育学部助教 市田 敏之



① 京都府 ② 釣り
③ 正々堂々
④ 教育行政学等の科目を担当させていただきます。

皇學館大学教育学部助教 中條 敦仁



① 皇學館大学大学院博士後期課程国文学専攻修了。前職は皇學館高等学校教諭（国語）。
② 映画鑑賞。面白い物や面白い光景を探す。
③ 一命懸命
④ 楽しく意味ある講義を目指します。みなさん協力してくださいね！

皇學館大学社会福祉学部助手 古川 愛梨



① 愛知県・皇學館大学大学院社会福祉学研究科修了
② 映画鑑賞
③ 感謝のココロ
④ 母校に戻り、大変嬉しく思っております。常に感謝の気持ち忘れず、前向きに頑張ります。

皇學館大学教育開発センター助手 速水 香織



① 皇學館大学大学院

② 弓道二段
③ 玉も磨かずば光なし
④ 早く大学のお役に立てるように、がんばります。

皇學館大学事務局財務部部長 井面 護



① 皇學館大学国史学科熱田神宮
② ゴルフ
③ 一意専心
④ 建学の精神を堅持し、事務職員として職務を全うするよう努力するのみです。

皇學館大学学生部大学事務局就職課課長 堀畑 利治



① 国立大学（病院）、民間病院の管理運営
② ソフトテニス
③ 日々新たな
④ 就職支援の仕事は初めてですが、精一杯がんばります。

皇學館中学・高等学校事務室事務長 近藤 卓二



① この春、県を退職しました。② 本好きです。

④ 公務員生活の後、津から倉田山に車で通つことになりました。

皇學館高等学校養護助教諭 山本 あす美



① 前職 鈴鹿短期大学養護教諭・福祉コース助手
② 舞台観劇
③ 笑つ門には福来る
④ 皆さんの心と体の健康を守る保健室を目指します。

熊野で講演会を開催

みえ熊野学研究会との協定記念

昨年四月に締結された本学文学部とみえ熊野学研究会との連携協定を踏まえ、岡野友彦文学部教授が二月十四日に、伴五十嗣郎学長、岡田芳幸神道博物館准教授が三月七日にそれぞれ講演を行った。

「熊野と東国をつなぐもの」をテーマに紀北町民センターで開かれた岡野友彦教授の講演では

が「伊勢の神宮と日本人のちと血統の連続」と題して講演。建学の精神についても触れながら、日本人の生命観、自然

皇學館高等学校常勤講師 田中 克己



① 静岡県田方郡、前年度まで、名古屋の私立で中学生を教えていました。
② 読書
③ 校内で見かけたら、気軽に声をかけていただくのがたいです。

皇學館高等学校常勤講師 日々野 公輝

① 白子高校から来ました。
② デザインの演奏です。
③ 努力に勝るものなし
④ 教師生活は17年目になります。



皇學館中学校常勤講師 花井 和美



① 多気町 ② 3方など
③ この世で唯一不変のものは変化である
④ 人は常に学び変化し続けるべき。皆さんと共に学び続けたいと思います。



講演中の岡野教授。

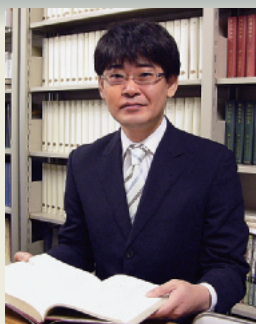
が「伊勢の神宮と日本人のちと血統の連続」と題して講演。建学の精神についても触れながら、日本人の生命観、自然

神宮大宮司・鷹司尚武氏が祝辞

平成二十年度 皇學館大学卒業式

三月十八日、平成二十年度皇學館大学学位記・修了証書授与式が挙行された。文学部、社会福祉学部、大学院を含む七百九名が恩師や友人らに別れを告げ、学舎を巣立った。門出を祝うような晴天に恵まれた式当日、鮮やかな色の振袖に袴、スー

平成21年度 科研補助金 新規採択者に2名



採択され嬉しいと中川准教授。



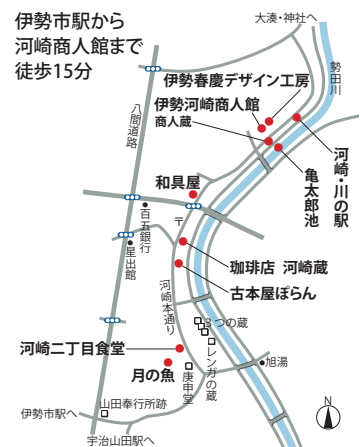
今後の展望を語る板井講師。

独創的・先駆的な研究に対して交付される「科学研究費補助金」の平成二十一年度採択者に中川照将文学部准教授、板井正吾社会福祉学部講師の二名が選ばれた。

中川准教授は「源氏物語本文に関する伝承と本文変容の連動性について」今、私たちが手にする源氏物語は形態の異なる数多くの源氏物語の中から専門家が「本物」と鑑定したもの過ぎない、という中川准教授。その真意については研究の余地があると指摘する。本研究は本物志向が芽

板井講師の研究テーマは「高齢者・障がい者の聖地旅行とそれを支えるボランティアの相互作用に関する研究」目的は「誰でも祈り」としての高齢者・障がい者の聖地への旅行と、それを支える地域住民のボランティアから、「聖地らしさ（オーセンティシティ）」の現代的な多様性を宗教の立場から明らかにすること。高齢者福祉、障がい者福祉といった現代的な社会課題に対する宗教文化の役割を実証的に捉えたいと語る板井講師。とりわけ、欧米社会の信仰を基盤としたボランティアとは違つ、日常生活において意識されにくい宗教文化と福祉文化との古くて新しい関わり方を見出せるのではと意気込みを見せる。

十一月に行われる宇治橋渡始式に言及し、多くの人々の架け橋となつてわが国の精神と伝統を継承し、日本人としての誇りを胸に世界へ羽ばたいてほしいと期待を述べた。その後、在校生総代として社会福祉学部三年の藤原拓郎さんが送辞を述べ、これを受けて卒業生総代の文学部・後藤詩織さんが答辞。校歌斉唱、閉式の辞でもって式は滞りなく終了した。



観る

河崎や伊勢の歴史にまつわる建物が点在し、まじめな町歩きスポットとしても喜ばれるのでは。どの施設の方も気さくに話してくださるので、わからないことは遠慮なく聞いちゃいましょう。

市川真衣：敬育学科 3 年
(三重県四日市市出身)

●**亀太郎池**

昔の川の景観が分かるようにと、残された箇所がある。通称「亀太郎池」。その名の通り、ここにはたくさんの亀がいる。温かい季節には子亀が親亀の上に乗って、日なたぼっこをする姿が笑ましい姿が見られる。カップルで亀を探してみてもいいかも。

●**河崎・川の駅**

商人館から歩いてすぐ、勢田川に面して造られた川の駅。屋内は資料室で、古い写真などを展示している。建物は昔市内を走っていた路面電車の駅舎をモチーフにしたデザインだそう。勢田川を見渡せるバルコニーがとてもステキだ。

●**伊勢河崎商人館**

江戸時代から代々酒問屋を営んできた小川家。その蔵 7 棟、町家 2 棟を修復したのが伊勢河崎商人館である。昔の商家の趣が感じられるほか、資料館には河崎の歴史を物語る古文書がずらり。2 階の格子窓からは蔵の家並みのほか勢田川が見え、往時にタイムスリップしたかのような気分になる。

●**伊勢春慶デザイン工房**

伊勢春慶とは檜の木地にベンガラなどで赤く下塗りをし、その上に透明な春慶漆を塗ったものである。落ち着きのある独特の光沢が特徴で、ツルツルと手触りが良い。商人館横の伊勢春慶デザイン工房では多彩な作品が展示されており、お店の方が春慶やその歴史についてわかりやすく解説してくれる。

食べる

おいしいランチにおしゃれなお店、きっと会話も弾んで楽しい時間が過ごせること間違いなし！ ぜひカップルや友達同士で足を運んでみてわ？

野畑郁絵：国文学科 3 年
(岐阜県高山市出身)

●**河崎二丁目食堂**

アジアンテイストなおしゃれなお店。壁にずらりと並んだ手書きのメニューが印象的。私たちが食べた数量限定のランチは見た目も味も大満足。これで800円は安すぎる！

●**珈琲店 河崎蔵**

蔵を改装して作ったというこのカフェは天井が高く開放的で、ゆったりとした時間が流れている。囲炉裏を囲む席やカウンター席など、客は思い思いにくつろぐことができる。観光客はもちろん、地元っ子の憩いの場としても利用されているのか常連客らしき人がちらほら。メニューには豆乳ココアなど変わったものもありおいしかった。また、このケーキはまさに絶品。一度は食べてみる価値あり！

～散策を終えて～

河崎は住宅地の中にあるからこそ、知る人ぞ知る隠れスポットのよう。古い町並みに当時の人々の面影を感じました。レトロでシックな蔵の喫茶店、居酒屋、食堂、美容院に雑貨屋……新しいお店もたくさんあり、ガイド本には載っていないレアな町歩きが楽しめてとても嬉しかったです。おかげ横丁のほかにこんな楽しい所があるとは！伊勢の町ってまだまだ奥が深いですね。

クローズアップゼミ

研究室探訪 1

社会福祉学科
宮城洋一郎ゼミ

私のゼミでは「社会福祉の歴史研究」を主なテーマに、古代から近現代までさまざまな人物の事業・思想などを検証しています。中でも、社会福祉が「慈善事業」と呼ばれていた明治期の実践方法などに注目しています。というのも、今私たちが直面している課題の根本をみるには、制度や法律が未整備な時代において事業実践に取り組んだことの意義を検証し、評価すべき点を明らかにしたいと考えたからです。

また、福祉に高い関心を持っているはずのゼミ生があえて福祉の道を

選択しない傾向にあることもこの研究を深めるきっかけになりました。社会問題の解決は社会の責任と捉えた日本資本主義の父・渋沢栄一の言説、身寄りを失った子どもたちに個性重視の立場から人格主義的な処遇

先人に学ぶ社会福祉のあり方

に取り組んだ岡山孤児院の創設者・石井十次など、自らを顧みず福祉実践に全力を傾注してきた先人の軌跡をたどることで、学生たちにはその意義をあらためて問いただしてほしいと思います。

私が学生だった頃と比べ現在の皆さんはまじめに努力され、真剣に将来を考えています。それだけに、福祉職の社会的な貢献度の高さが十分に認知されず、様々な面において厳しい状況が続いている現状にとまどいを感じ、飛び込む勇氣を持てないのかもしれない。そうした将来に対する不安を取り除き、豊かな職務の可能性を理解し、魅力ある福祉実践の道を展望していくことが、社会福祉を研究する者の責任だと考えています。

学生記者
募集中!興味のある人は
総務課まで!

伊勢を再発見! 蔵のまち・河崎を訪ねる

伊勢で賑わう界隈といえば、神宮におはらい町、おかげ横丁……。でも、門前町を離れちょっと歩けば、神都の面影を色濃く伝える町並みがあちこちに残っています。今回はかつて伊勢の“だいどこ(台所)”と呼ばれ、勢田川の水運で栄えた問屋街・河崎を学生記者が取材してきました。

伊勢と聞いて最初に思い浮かぶのは、神宮、おかげ横丁であろう。江戸時代には多いときで全人口の6人に1人が参宮に訪れたという。そんなお伊勢参りの人々を物資の面で支えた場所をご存知だろうか?

河崎——かつて“伊勢の台所”と呼ばれた問屋街である。

当時、年間500万人を超す人々をもてなすため、伊勢では多くの物資を必要とした。陸路で運べる荷が限られていた当時、活躍したのが船。米や酒、海産物などをてんこもりに積んだ船は伊勢湾から勢田川をさかの



ぼり、ここ河崎で荷をおろした。物資を船から直接運び込めるよう、川に面して建ち並ぶ蔵は河崎を代表する風景だったのだ。

しかし、車が登場した昭和30年代以降、船の需要は減りやがて使われなくなる。それとともに河崎の問屋としての機能は衰退していった。

単に保存するだけではなく、実際に生活が営まれてこそいい町並みになる、と西城さん。

国史学科12期
(昭和52年3月)卒



るんです」と語るのは、伊勢河崎商人館の西城利夫さんだ。「よそから来た人が町並みを通して地域の魅力を見つけてくれることで、住んでいる人たちも自分の町に誇りを持てるのでは。この町に住み続ける方もいれば、新しく移り住んで来られる方もいる。河崎のまちの魅力を次の代へ繋いでいければと思います」

過去と未来が織り成す 「今」の河崎

西城さんの話を頭の片隅に置きながら河崎の町を歩いてみた。たしかに、古い建物と真新しい建物が同じ空間の中に存在している。それでいて不思議と違和感がないのはなぜだろう。それはきっと、時の流れるままに変化を受け入れる懐の深さがこの町に根付いているからではないだろうか。新しいエネルギーを吸収しつつ、旧き良き姿を残し、今もなお独自の町並みを形成しているのが河崎なのだ。

ぜひこの町を歩いてほしい。伊勢の魅力をもたひとつ発見するはずだ。



編集スタッフ ● 村田鈴美：国文学科3年
(長野県伊那市出身)

歩いて見つけた

テーマ別おすすめスポット in 河崎

My favorite spots in KAWASAKI

買う

河崎での買い物
の楽しみは、
まちなみにマッチ

するようなアンティークな品々
をたくさん見つけられること。

古い物、レトロな物が好きな人
には、たまらない買い物スポッ

トだ3つ。私
もついつい買
いあさってし
まった。



山口麻衣：国文学科3年
(三重県伊勢市出身)



●伊勢河崎商人館

伊勢河崎商人館の道を挟んだ向かい側に建つ商人蔵には、手作りの雑貨や着物の古着など、3つの蔵にわたって様々な物が販売されている。また、貸しボックスもあり、自分で作ったものを売ることできる。



●古本屋ぼらん

本好きの私にはとっておきの場所。のれんをくぐると、古本とレコードが山のようにみえる。文学から専門書まで、何があるかわからない。雰囲気がとても河崎☆



●和具屋

陶器を扱ってから200年近いという和具屋。14代目の大西とよのさんは河崎の名物おばあちゃんとして有名だ。店内には川から引いたトロコのレール跡が残り、往時の面影を残している。店の前では湯のみが、店内をのぞくと年代ものの陶器が販売されている。



●月の魚

シルバーと着物の小物が印象的なお店。アクセサリや小物、バックなど手作りのレトロかわいい品がところせましと並ぶ。学生の私の財布には少し厳しい値段の物もあるが、どれもていねいに手作りされた物ばかりである。



巣立ちと新たな門出の春

皇學館高校で卒業式・入学式を挙行

厳しかった冬の寒さが終わりを告げ、桜のつぼみが硬い殻の下にやや赤みを帯びた顔をのぞかせるようになった三月二日、皇學館高校第四十四

期生、三百九十一名の卒業式が厳肅な雰囲気の中で執り行われた。三万七千名以上の卒業生、五賞受賞者などの名前が読み上げられる中、卒業生たち



答辞を読む若松律子さんの声も涙でつい詰まりがちに。

ちは過ぎ去った高校生活に思いを馳せながら、新たな旅立ちへの期待に胸を膨らませた。一方、うららかな日差しが降り注いだ四月十日、満開の桜の下で第四十七期入学式が皇學館大学記念講堂にて実施された。時折笑い声が響く和やかな雰囲気の中



式後、初めて神宮参拝を行う新入生。

柔道の中川君が国際大会で優勝

ドイツジュニア柔道国際大会

今春皇學館高校を卒業した柔道の中川裕喜君が若手の登竜門といえるジュニア国際大

会でみごと優勝を果たした。出場したのは三月二十一日、二十二日の両日にドイツ・フ



日の丸を背負って練習に励む中川裕喜君。 (読売新聞社提供)

レーメンにおいて開かれたドイツジュニア柔道国際大会の七十三キロ級の同大会に参加できるのは二十歳未満の選手のみで、好成績を収めた者は次世代柔道の担い手として今後の活躍が期待される。

中川君は現在柔道の名門校である日本大学に進学し、日々厳しい練習に励んでいる。

皇 中 NEWS

思い出詰まったスライドに涙

第28回 皇學館中学卒業式



春らしい陽気に包まれた三月二十一日、セミナーホールにおいて平成二十年度卒業式が執り行われた。厳肅な雰囲気が始まった式典は国歌斉唱、賀陽宮邦憲王殿下令旨奉読の後、担任が卒業生六十五名を一人ひとりの名。総代の山下拓朗さん(三

月二十一日、セミナーホールにおいて平成二十年度卒業式が執り行われた。厳肅な雰囲気が始まった式典は国歌斉唱、賀陽宮邦憲王殿下令旨奉読の後、担任が卒業生六十五名を一人ひとりの名。総代の山下拓朗さん(三

卒業式を終えた後は担任の山形先生・小林先生からのプレゼントであるスライドショーが始まった。一年生の入学式に始まり、三年間の数々の思い出・イベントがぎゅっと詰まったスライドを観るうちに感極まったのか、生徒や学年教員の目からは涙があふれ、ハンカチで何度も目頭を

押さえる姿が見られた。ホールが感動と暖かい空気に包まれるなか、担任は最後の学級指導に臨んだ。

平成二十年度 入学式を開催

四月七日に第三十一回入学式が行われた。真新しい制服

に身を包んだ新入生は緊張した面持ちでセミナーホールに



上／笑顔で新入生を迎える中村貴史校長。下／緊張した面持ちの新入生たち。

式典では国歌斉唱、賀陽宮邦憲王殿下令旨奉読に続き、担任が一人ひとりの名前を点呼すると、元氣よく返事をし起立する生徒の姿が見られた。在校生代表として総務委員長長の長岡由莉さん(三A)が歓迎の言葉を述べ、入学宣誓は奥田健吾さん(一B)が堂々と読み上げた。その後、校歌斉唱の伴奏の中、本校生徒になったという誇りを得、晴れ晴れとした表情で、ホールを後にした。

皇 高 NEWS



校友会主催で初の試み

「三年生を送る会」を開催

三月十六日、セミナーホールにて校友会主催による「三年生を送る会」が賑やかに催された。初めての試みとなる今回の行事は校友会の本部役員が昨年企画していたものだ。

当日はまず四、五限目にクイズ大会が行われた。それぞれのクラスから数名ずつが集まり、約二十名のメンバーで組まれたチームは全部で十。天体にちなんだ名がつけられた各チームから三人程が選出され、様々なクイズに挑んだ。卒業生が三年間を振り返られるように考えられた「皇學館クイズ」「教員クイズ」は本



3年生が盛り上げるワンシーン。

六限目は、各学年の発表となった。一年生は群読で卒業生へのお祝い感謝の気持ちを伝え、合唱「旅立ちの日に」で締め括った。二年生は見事な演奏と歌声で「君とみた海」「手紙を歌い上げ、卒業を祝福した。最後に三年B組の山下拓朗くんが下級生へ向けての思いや三年間の思いを代表して堂々と述べた後、合唱が始まった。一曲目の「Story」は澄み切った歌声で会場が感動に包まれていくのがわかった。二曲目の「キセキ」では途中、男子四名が前に出てきて観客を盛り上げる場面もあり、生徒はもちろん、教員も明るく楽しい気持ちになった。

最後にクイズ大会の表彰が行われ、卒業生にとって中学校最後の思い出作りに幕を下ろした。

2カ月イベント情報

6月

- 7日 名張の地域文化を語る会 大神神社ほか
日帰り参拝見学ツアー
「わが背子と訪れるかぎろひの丘、山辺の道」
- 13日 月例文化講座(伊勢) 伊勢学舎
大仙皇女 ◆大島信生 国文学科教授
週末あそび塾 名張学舎
焼き板に挑戦! ◆叶俊文 社会福祉学科教授
- 20日 月例文化講座(名張) 名張学舎
歌え、踊れ、辛いなる魂よ
◆森岡純子 社会福祉学科教授
史料編纂所夏セミナー① 伊勢学舎
古文書を読もう! ◆多田寛道 国史学科講師
- 27日 神道博物館教養講座 神道博物館(伊勢)
廿日会祭 稚児舞楽について
◆静岡浅間神社権禰宜 渡邊聖之氏

7月

- 4日 週末あそび塾 名張学舎
あそびの丘 ◆叶俊文 社会福祉学科教授
- 11日 月例文化講座(伊勢) 伊勢学舎
『源氏物語』と伊勢 ◆中川照将 国文学科准教授
みえアカデミックセミナー 三重県生涯学習センター
本居宣長の『うひ山ぶみ』に学ぶ
◆松浦光修 国史学科教授
日本人と禅宗 ◆多田寛道 国史学科講師
- 18日 史料編纂所夏セミナー② 伊勢学舎
古文書を読もう! ◆多田寛道 国史学科講師
- 18日~19日 週末あそび塾 名張学舎
名張学舎で1泊キャンプ ◆叶俊文 社会福祉学科教授
- 23日 名張の地域文化を語る会 まちなか研究室事務局(名張)
日本文化と酒 ◆松尾大杜権宮司 生嶋経和氏
- 25日 月例文化講座(名張) 名張学舎
神経筋の側面からみた健康づくり
◆小木曾一之 教育学科准教授
神道博物館夏休み親子教室 神道博物館(伊勢)
どんな海藻があるかな? —いろんな海藻を押し葉
してみよう!—(仮称) ◆海の博物館学芸員 平野大蔵氏
- 26日 史料編纂所 第17回講座 伊勢学舎
日本書紀・古事記の世界 ◆岡田登 史料編纂所教授
荊木美行 史料編纂所教授 遠藤慶太 史料編纂所講師

高校生英語スピーチコンテスト参加者募集!

文学部コミュニケーション学科では高校生を対象とした第10回高校生英語スピーチコンテストを開催いたします。6月中旬に各高校英語科主任の先生宛に申込用紙をお送りさせていただきますので、参加ご希望の方は7月末までにコミュニケーション学科研究室(☎0596-22-6472)までご連絡ください。多数のご応募をお待ちしています。

開催日時 平成21年10月25日(日) AM9:30~
開催場所 伊勢学舎 4号館 431教室

イベントの時間・申込方法等のお問合せは各学舎まで
伊勢学舎 ☎0596-22-0201代 名張学舎 ☎0595-61-3351代

編集後記
◆今号より学園報を大きくリニューアルしました。速報性を重視した紙面構成となり、奇数月の発行となります。また、従来の『くらゐふ』は記録性に重きを置き、年二度(九月と三月)発行の予定です。報告や体験記等を集約します。◆今回の学生編集ページでは、伊勢市の河崎を取り上げました。お話を伺った伊勢河崎商人館事務局長の西城利夫さんは館友です。一時の流れに合わせた変化しつつも、変わらない心を伝えていくこと、それがまちづくりの基本です。その言葉が印象に残りました。(総務課)



終了後、学生には会場から惜しめない拍手と歓声が贈られた。

子ども目線でテーマを伝える

四年間の集大成として毎年催される教育学科有志による卒業記念ミュージカル

「ブレイメンの音楽隊」をモチーフにした脚本

文学部教育学科四年生有志九十名による卒業記念ミュージカルが三月七日、八日の二日間、伊勢学舎において開催され、市内外から大勢の親子連れが訪れる賑やかな一日となった。今回の題目は「ブレイメンの音楽隊」笑顔と音楽はみんなの宝物。演題にちなみ会場には「音」をモチーフにした飾り付けが施されたほか、多彩なメロディが流れるなど目と耳で音を楽しめる工夫が随所に光り、千人の観客を魅了した。

音を楽しむ舞台上で観客を魅了
「ブレイメンの音楽隊」笑顔と音楽はみんなの宝物

教育学科恒例 卒業記念ミュージカル

やり遂げた自信を胸に社会へ巣立つ

「子どもたちをつねに目の前に浮かべて活動しよう、とメンバーには呼びかけました」と話すのは実行委員長の安立康太さんだ。ともすれば大人の視点で作りがちな衣装や大道具。だが、「子どもたちが喜ぶかどうか」を軸にすることで、自然と



講堂前の階段に並び、観客を見送る出演者たち。

を作り、「夢・音楽・仲間・笑顔」など子どもたちにずっと大切にしたいテーマを盛り込んだメッセーシ色の強い舞台となった。

とくに「音楽」については目と耳で楽しめる工夫が随所にまじり、たと

“創咲書家”として活躍 伊藤潤一さんに学長特別賞



制作中の様子。これまで書いた色紙は4000枚以上にも。

伊藤さんは、二回生の時に京都出身の書道家との出会いをきっかけに「書道に興味を持つようになった。完成作品だけでなく、創作の過程も観客と一緒に楽しむ『ハフォー・マンス書道』に共感し、自らを『創咲書家 潤一』と名付けて、平成十九年三月から活動を始めた。そのスタイルは、路上に座り、通りがかった人と話をしながら、その時感じたことをメッセーシとして即興でしたためるといふもの。『あな



「頑張ります」と卒業式後の伊藤さん。

伊藤さんは活動の魅力を「一人との繋がりが生まれること」と語る。卒業後は地元印刷会社で働きながら、自身の活動も続けていく。

社会福祉学部の第八回卒業生・伊藤潤一さんに学長特別賞が贈られた。課外活動などで功績のあった学生に贈られる賞で、県内を中心にした書家の活動が評価された。彼の二年間の活動を紹介します。

たを見て言葉を書きます」——相手の話に傾聴し、一つ一つの出会いを大切に作る姿勢が人気を呼んだ。

二年目には店舗看板のデザイン、学園祭やライブのイベント出演にも活動が広がり、中学校や高校での講演会や、ボランティア団体・アート団体の代表としても活躍。山梨・岐阜・愛知・三重ほか九カ所で開催し、今夏も津市での個展が決まっている。

オープンキャンパス2009

参加者には、オリジナルグッズや入試問題集をプレゼント♪

文学部

《伊勢キャンパス》

- 神道学科
- 国文学科
- 国史学科
- コミュニケーション学科

教育学部

《伊勢キャンパス》

- 教育学科
- 学校教育コース
- 幼児教育コース
- スポーツ健康科学コース
- 特別支援教育コース※1

現代日本社会学部※2

《伊勢キャンパス》

- 現代日本社会学科
- 政治・経済コース
- 社会臨床コース
- 福祉計画コース
- 伝統継承・文化創造コース
- 地域社会コース
- 社会情報コース
- 社会福祉コース

こころ小路ツアー開催!! 入退場自由

—今年のテーマは旅—
未来に出会う心の旅

- 第1回 6月14日(日) ●伊勢
 - 第2回 7月19日(日) ●伊勢
 - 第3回 8月23日(日) ●伊勢
 - 第4回 11月3日(祝) ●伊勢
- 大学祭と同時開催

詳細は入学試験課までお問い合わせください♪

イベント主なメニュー(予定)

- 「なりきり神道教室」……………神道学科
- 「いにしへのロマン紀行」……………国文学科
- 「クイズ! 歴史発見」……………国史学科
- 「しゃべり場」……………コミュニケーション学科
- 「教育ワークショップ」……………教育学科
- 「そこまで言って委員会」……………現代日本社会学科

その他メニュー

- 模擬講義
- 入試説明会
- 学食体験
- 個別相談コーナー
- キャンパスツアー など

7月18日(土)はオープンキャンパスとは別に学校見学会を開催 13:00~16:00

お問い合わせ先

皇學館大学 入学試験課

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本1704 TEL 0596-22-6316 (直通)
[E-mail] nyusi@kogakkan-u.ac.jp http://www.kogakkan-u.ac.jp